

# 平成 25 年度 保護者アンケートの結果（概要）

## 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について

基本的な生活習慣、挨拶、公共のルール等を子どもに身に付けさせている家庭は 80% を超える。

家庭学習の習慣を身に付けさせている家庭は、小学校では 80% 程度であるが中学校は 60% 程度である。読書の習慣を身に付けさせていたり、地域行事やボランティアに積極的に参加させたりしている家庭は、50% 以下である。

- 問 3 早寝・早起き・朝ごはん等の生活習慣を身に付けさせている家庭は、小学校で 89.3%、中学校では 77.4% である。
- 問 5 家庭学習の習慣を身に付けさせている家庭は、小学校では 81.4%、中学校では 60.5% である。
- 問 8 子どもとテレビ視聴やゲームの遊びの時間を決めている家庭は、小学校では 68.7%、中学校では 44.6% である。
- 問 10 家庭で読書の習慣付けを心掛けている家庭は、小学校では 50.8%、中学校では 32.1% である。
- 問 11 子どもが基本的な挨拶をしっかりとできるようにしている家庭は、小学校・中学校ともに 90% を超える。
- 問 12 子どもに地域行事やボランティア活動に積極的に参加させている家庭は、小学校・中学校ともに 50% を下回る。
- 問 14 子どもに学校や公共のルールを守らせている家庭は、小学校・中学校ともに 95% を超える。
- 問 15 自転車の乗り方等、交通安全について家庭で話し合う機会をもつようにしている家庭は、小学校では 89.7%、中学校では 80.3% である。

## お子さんが通っている学校の選択について

学校選択を利用して入学した割合は、30% 程度である。

選択の理由で一番多いのは、「地元で通学上便利だから」であり、学校選択に責任を感じている保護者は 80% を超える。

- 問 23 小学校・中学校ともに、学校選択制を利用して入学した割合は 30% 以上である。また、一体型では 39.6%、分離型では 31.1% が利用している。
- 問 24 学校選択の理由で一番多いのは、小学校・中学校、一体型・分離型ともに「地元で通学上便利だから」、次いで「兄弟関係・友人関係」の順になっている。
- 問 27 小学校では 89.7%、中学校では 82.5% の保護者が、現在通っている学校に満足している。
- 問 28 学校を選択することに責任を感じている保護者は、小学校では 87.7%、中学校では 81.9% である。

## 学校に対する保護者のお考えについて

小学校の保護者の方が、中学校の保護者に比べ1年間に学校に行っている回数が多い。  
学校の活動に協力している保護者に比べ、PTA活動の協力している保護者は少ない。

- 問 29 小学校の保護者が1年間に学校に行った回数で最も多いのは10回以上である。中学校では3~5回である。
- 問 30 学校の活動に協力してきたと考える保護者は、小学校では、79.7%、中学校では61.8%である。
- 問 31 PTA活動に協力してきたと考えている保護者は、小学校では64.4%、中学校では47.3%である。
- 問 33 地域と連携していると感じている保護者は、全体では89.7%であり、小学校・中学校、一体型・分離型いずれも85%を超えている。

## 品川区の教育施策について

小中一貫教育に期待するもので、一番多いものは「学力の向上」である。  
「4・3・2」のまとまりで義務教育を考えることに関する保護者の理解は低い。  
市民科・英語科について、良い取組だと考えている保護者は80%を超える。  
外部評価・学力定着度調査について、良い取組だと考えている保護者は80%を超える。

- 問 35 小中一貫教育に期待するもので一番多いのは、小学校・中学校、一体型・分離型ともに、「学力の向上」であり、次いで「学習意欲の向上」、「異学年交流」の順である。
- 問 36 区独自の市民科をよい学習だと思っている保護者は、小学校では82.9%、中学校では76.5%である。
- 問 37 義務教育を4・3・2のまとまりで考えることは、子どもの学びや発達段階に合っていると思っている保護者は、小学校・中学校ともに50%強である。また、一体型の59.0%と比べると分離型は51.6%と若干低くなっている。
- 問 38 他地区より授業時間を増やしていることを良いことだと思っている保護者は、小学校・中学校ともに80%を超えている。
- 問 39 学校選択制をよい制度だと思っている保護者は、小学校では68.3%、中学校では70.9%である。
- 問 40 外部評価が学校の改善に有効であると思っている保護者は、小学校・中学校ともに80%を超えている。
- 問 41 区独自の学力定着度調査は子どもの学力向上に有効であると思っている保護者は、小学校では81.5%、中学校では75.5%である。
- 等 42 低学年からの英語科教育については、小学校では92.3%、中学校では88.4%の保護者が良い取組だと思っている。